

平成 25 年度実施完了分等（2012 フォローアップ分含む）の 実行計画に係る検証結果について

検証は、副本部長、教員の本部員 3 名（以下：評価者）が、事務改革アクションプランに掲げた取組のうち、平成 25 年度で完了した取組及び前年度に評価が低く継続した取組のフォローアップについて、各課からの自己評価（※評価基準参照）及び書面による報告に基づき行っています。

※評価基準

- IV・・・計画を上回って実施している
- III・・・計画を十分に実施している
- II・・・計画を十分には実施していない
- I・・・計画を実施していない

事務改革アクションプラン2013
【事務の簡素化・合理化】
(2013年度(平成25年度)実施完了分)

<学長戦略企画課>

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('14年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者コメント			
							A	B	C	D
その他	09-13-01	H22～ H25	執行部に係る情報の発信・充実	学長戦略企画課	大学の構成員に現在の課題や執行部の方針・意志・動向等を理解いただくため、毎月概ね2回(年17回)の「学長室だより」()を全教職員あてにメールにて発信し、執行部の動向等(学長からのメッセージ、検討事項、学長等の動向)について、情報提供及び情報共有を行った。 24年度の途中から理事・副学長雑感を掲載するなど、エッセイ的要素も加えて、読者の拡大及び浸透を図った。 その他、職員連絡会等の諸会議、学長念頭挨拶などの機会においても大学を取り巻く状況などを積極的に執行部から発信した。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	

<総務課>

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('14年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者コメント			
							A	B	C	D
改善見直し	02-13-01	H24 H25	情報の共有化等(会議情報(議事、メモ)の提供及び外部有識者の意見の反映状況の公表)	総務課(総務係)	大学運営会議、教育研究評議会、代議員会、執行部打合せ、事務連絡協議会については、会議終了後、速やかに議事メモを作成し、構成員に対しメールで通知するとともに、会議資料は事務局HPに掲載した。 経営協議会の意見等の大学運営等への活用状況を大学HPに公表した。 http://www.tut.ac.jp/about/docs/keiei_katuyou_joukyou.pdf	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	
改善見直し	02-13-02	H22 H23 H25	給与、共済組合、社会保険事務に係る共通処理事項の重複等の整理及び業務フローの整備	総務課(人事労務室)	職員の扶養認定(取消)や住所変更等に関して人事係と給与共済係で情報を共有し、提出書類をまとめて職員へ提出依頼するとともに、住民票等の提出を正本1通とする等重複しないように努めた。 業務フローについては、必要に応じた見直しにより、完成版として整備が完了している。今後は、業務の見直しがあった際に更新することとしている。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	
サービス向上	05-13-01	H23～ H25	事務局HP等を活用した学内教職員向けの情報発信機能の強化(人事関係、共済関係、両立支援関係、兼業、福利厚生事業等各種制度及び手続き等)	総務課(人事労務室)	H24の事務局HPのリニューアルに合わせて、人事労務関係の業務内容を集約し掲載するとともに、「事務手続一覧」を作成し、事項毎の提出書類、担当係を明記した。その他、人事情報、共済組合に関する新規情報など定期的又はリアルタイムで更新を行い、情報提供を行った。 また、両立支援関係については、学外からでも確認できるよう男女共同参画推進室のHPに掲載した。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	

<会計課>

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('14年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者コメント			
							A	B	C	D
改善見直し	02-13-03	H23～ H25	会計関係手続きの見直し ③教員による各種立替負担の軽減(旅費、立替払い、法人カードの利用)	会計課	毎月の支払い手続きを、中旬払いと月末払いの2回とすることにより、旅費等の精算日を早め、領収書の発行日をもって支払い手続きを行い早期支払いに努めた。また、各種立替をカード払いにした場合、カードの引き落とし日を待って支払い手続きを行っていたが、支払いの事実がネット上で確認でき次第、手続きを行うことにより、従来より1～2か月程度早めることができた。 法人カードについては、教員等の立替(カード払)の補完的な位置付けで運用(例:高額物品のカードでの購入等)し、利便性向上にも努めている。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	

<研究支援課>

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('14年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者コメント			
							A	B	C	D
改善見直し	02-13-06	H22～ H25	外部資金情報提供業務 についての改善見直し	研究支援 課外部資 金係	(1)事務局研究支援課のページに、研究助成に関 する公募情報一覧を掲載して、研究者が自分に適 する公募を探しやすいよう、改善してきたところ がある。それに加えて、学生の応募についても応募可 否欄を設けて、学生向け公募情報についても一 覧から選べるようにした。 (2)これまで案内していなかった公募情報につ いて、インターネット検索や書籍を活用して新たに探 し出し、学内へ案内することで情報提供の充実を図 っている。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	
改善見直し	02-13-07	H22～ H25	勤務時間に関する事務取 扱の見直し	研究支援 課	契約職員の出勤簿関係書類について、採用日によ り休暇簿等対象期間が年度を跨いでしまうため、出 勤簿に併せて会計年度で処理できる様に各種様式 の見直し・修正を行い、管理等業務の煩雑化・合理 化に資する事ができた。 なお、昨年度来提案している非常勤職員の年休付 与方法の見直しについては、採用日より年休付 与日が個人毎に異なり業務が煩雑となっていること から、年休付与の時期を年2回とする業務の簡素化 を総務課に提案・付託中である。この見直し案は現 行の勤務時間管理の手法を根本的に改変しようと するものであり、他の国立大学で実施されている例 はない。新規採用者に留まらず在籍職員へも影響 する見直しであり、学内の理解と労基法との整合性 にも留意しつつ、かつ、移行に伴う混乱も想定され ることから、総務課において導入準備中の勤務時間 管理システムと絡めて慎重に検討を進めている状 況にある。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	

<施設課>

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('14年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者コメント			
							A	B	C	D
効率化		H24 H25	工事実績規模設定に関 するマニュアル作成(判断 基準の確立)	施設課	工事実績規模設定に関するマニュアルを整備し、一 般競争入札の際の判断基準を確立した。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	
効率化		H24 H25	安衛法上必要な職場巡 視のマニュアル化	施設課	安衛法上必要な職場巡視に関するマニュアルを整 備し、安全衛生委員会において周知している。 マニュアルを整備したことで学内での統一的な視点 による職場巡視が行えるようになり、的確な安全衛 生管理ができるようになった。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	
サービス向上	05-13-05	H22～ H25	緑地管理の年間計画策 定	施設課	緑地管理に係る年間計画を策定し、環境保全エネ ルギー対策委員会に報告し、HP上公開した。 年間計画の策定により緑地管理が計画的に実施で きるようになり、最低限ではあるが、一年を通して一 定の環境を維持できるようになった。 緑地管理は概ね計画どおり実施できている。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	
業務委託	08-13-01	H22～ H25	全室点検立会業務の外 注	施設課	消防設備点検時の全室点検立会業務を民間企業 について、常駐している設備保全業務請負者に外 注した。これにより鍵貸出業務の削減と第三者立会 による防犯性が向上し、スムーズかつ安全に全学 の点検作業を完了することができた。 室立ち入り時に利用状況(空室ではないか、倉庫的 に使っていないか等)、空調・照明の点検放しの有 無を確認し、室の有効活用と省エネルギー対策に つなげている。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当 であると判断する。	

*赤字はH25年度変更点

<教務課>

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('14年3月末現在) (具体的な取組内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者コメント			
							A	B	C	D
簡素合理化	03-13-01	H22～ H25	委員会事前打合せの簡素化	教務課	教育制度委員会と教務委員会の開催日が近い場合は、事前打ち合わせを連続して行うことで、事務の効率化を図っている。また、両委員会の連携を更に深めるため、教務委員会の事前打合せに教育制度委員会副委員長が新たに加わることとした。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。 事務の効率化に加え、事前打合せに参加する教員の負担軽減にも繋がっている。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	

<学生課>

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('14年3月末現在) (具体的な取組内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者コメント			
							A	B	C	D
サービス向上	05-13-07	H22～ H25	学生の満足度を高める学生サービスの提供 ③職員研修参加・課内情報共有による窓口対応の質確保	学生課	学内外である学生指導及び学生支援等の研修会には積極的に職員を参加させ、学生指導・学生支援等につながる情報収集を積極的に行い、業務遂行の強化を図った。 【学生支援】危機管理セミナー、総合損害保険研修会、障害学生支援研修会及びセミナー、奨学金事務研修会、リスクセミナー等;延べ14回 【学生指導】学生指導研究会月例会、東・北・近・学生指導研究会総会、学生指導研究会東海地区、学生指導担当副学長協議会、東・北学生指導研修会等;延べ11回 【学生相談】学生相談ケース検討会、学生相談研究会等;延べ5回 【就職支援】就職担当連絡協議会(総会)、中部地区国立大学就職担当者情報交換会、就職担当者情報交換会、就職担当者連絡協議会、就職指導がイグナス、就職・キャリア支援研修会、企業就職研究会、西三河企業情報交換会、就職担当者説明会[文]等;延べ13回 【保健管理】全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会研究会集、保健管理担当職研究会集、保健センター運営打合せ;延べ5回 また週1回月曜日に打合せを行い、週間の予定及び会議やイベント等の情報共有を図り、担当者が不在の場合でも学生等を窓口で待たせない対応及び学生の問題提起に即した対応ができた。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	
サービス向上	05-13-07	H22～ H25	学生の満足度を高める学生サービスの提供 ④福利厚生の見直しによるサービス向上	学生課	委託業者と大学が直接契約をするようにし、学生を含めたワーキンググループの意見を踏まえた委託業者の入札を行い、それに伴い13年10月から福利施設の大改修をした。また学生の居場所作りとして、講義棟の改修に伴い、学生ホールを改修し、リフレッシュルームを増やし、机・椅子の配置・種類を見直し、学生が自習しやすい環境整備をした。	Ⅲ これまで、学生が集える場が不足していたが、福利施設および学生ホールの改修により、環境がかなり整った。特に、学生ホールについては、学生が自習する姿を多く見られ、確実にサービス向上につながっている。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅳ 福利施設においては、施設全体が明るくなり、またカウンター席を設けることで一人で利用しやすい雰囲気となった。講義棟、学生ホールにおいては大学ロゴマークと同じ赤と黒で統一され、新聞で取り上げられるなど、大学のアピールにも貢献している。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	
サービス向上	05-13-07	H22～ H25	学生の満足度を高める学生サービスの提供 ⑤学生相談窓口案内カードの作成配布	学生課	学生相談窓口(複数箇所)の場所及び連絡先(電話番号、メールアドレス)を記載した学生相談窓口案内カードを作成し、全学生に配布した。どの窓口でも、自分の相談し易い窓口が利用できることを周知した。 カウンセリング、なんでも相談及び学生相談コーディネーターへの相談を加えた相談窓口総利用数(延べ)は、平成22年度(676件)、23年度(1,289件)、24年度(1,615件)、25年度(2,038件)となっている。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	
経費節減	07-13-04	H22～ H25	消耗品等事務経費の節減(払出・コピー機の共有化)	学生課 国際課	清掃用品等の発注を一元化し、物品も共有している。また、印刷機や拡大機などは全課が使えるよう対応を行った。 また、学生支援事業、学生相談事業等が新たに設置される中、印刷機の稼働率は増加傾向ではあるが、印刷用紙の両面印刷、アップ印刷及び裏紙利用を行い、印刷用紙の使用枚数の軽減を図った。 【ゼロックス保守料】 H23年度:544,000円/年 H24年度:543,000円/年 H25年度:300,000円/年	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	
業務委託	08-13-02	H22～ H25	学生宿舎業務の委託(消耗品補充及び入居退居時業務の委託推進、洗濯機コーナーのレンタル化検討)	学生課	施設・備品維持管理、宿舎入居者の生活上の相談、退居時の検査、メーター検針を継続して委託している。業務負担軽減により生じたマンパワーを活用して、フロアリーダーと連携を図り、フロアリーダー代表を頂点とした、自主的に生活改善を検討できる宿舎生組織整備を進めた。フロアリーダー代表を設置したことにより、宿舎管理における学生との意思疎通の円滑化を図ることができた。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	

<入試課>

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('14年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者コメント			
							A	B	C	D

*25年度完了の取組なし

<国際課>

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('14年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者コメント			
							A	B	C	D
効率化	04-13-02	H23～ H25	学内の国際交流情報の共有及び集中一元化	国際課	・学生の海外渡航情報を教務課・研究支援課から集約し、学内で共有している。 ・国際交流センターホームページにおいて、留学生向けの情報(奨学金など)の集約・共有を行った。 ・本学の国際広報担当として、英語版の広報媒体(大学概要、英語版ホームページなど)により、国際交流情報の集約・共有を行った。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	
経費節減	07-13-04	H24 H25	消耗品等事務経費の節減(払出・コピー機の共有化)	学生課、 国際課	掃除道具の共同購入・共同利用及び印刷機や拡大コピー機を学生課と共有することにより、掃除道具等の消耗品のコストの削減を図った。 また、三機関連務など増加にともないコピー使用料が増える中、コピー用紙の2UP利用及び裏紙利用を行ってコストの削減に努めている。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	

事務改革アクションプラン2013
【事務職員の再配置】
(2013年度(平成25年度)実施完了分)

<総務課>

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('14年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者コメント			
							A	B	C	D
事務職員の再配置	10-13-02	H23～ H25	再配置による業務の平準化(課をまたがる業務の連携強化, 系事務(室)のあり方検討等)	総務課 (課長, 副課長, 総務係), 研究支援課	12月に実施している各課長との人事ヒアリングにおいて, 配置状況と要望等を確認し人事異動等に活用するとともに, 業務繁忙, 欠員対応, 育児休業対応等, 必要に応じて非常勤職員(あるいは派遣職員)の雇用により, 適正な配置となるよう配慮した。 また, 新たなプロジェクト業務等への対応にあたっては, フルタイム職員(特命事務職員)を配置し, 業務の平準化に努めた。今後は, 新規プロジェクト採択などに伴う業務増に適切に対応するため, 随時, 現場からの要望を聴取し適切に対応できるよう平準化を進めることとしている。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	

<研究支援課>

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('14年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者コメント			
							A	B	C	D
事務職員の再配置	10-13-02	H23～ H25	再配置による業務の平準化(課をまたがる業務の連携強化, 系事務(室)のあり方検討等)	総務課, 研究支援課	系事務室の再編(再配置)等にあたっては, 教員組織の再編に際して教員の所属系と実際の居室が異なることが存在していることから施設マネジメント等の進捗状況を鑑み, まずは業務の効率化への取組を最優先とし, 各系汎用の事務室マニュアル, 予算差引簿及び旅費システムの見直し・修正等を昨年度に引き続き行った。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	

事務改革アクションプラン2012フォローアップ
【事務の簡素化・合理化】
(2012年度(平成24年度)実施完了分)

◆2012年度(平成24年度)実施完了分の取組状況報告において、評価【Ⅱ】をつけた事項のフォローアップ状況を記入しています。

<総務課>

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('14年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者コメント			
							A	B	C	D
効率化	04-10-02	H22 H23 H24	各種学内スライド等データ(大学紹介, 広報, 地域連携事業紹介)の集約化・共有化, 周知	総務課 (広報係, 地域連携係)	大学紹介パワーポイント(大学概要, 入試案内, 再編概要, 高大連携, 社会連携推進本部)を集約した箇所が見やすくなるよう広報部会ウェブサイトのレイアウトを見直すとともに, その他, 大学紹介ムービー及び文部科学省「国立大学改革強化推進事業」「研究大学強化促進事業」「博士課程教育リーディングプログラム」の3つの事業の概要をまとめたパンフレットのダウンロードが可能となるように同サイトを整備し, 全教職員に向けてメールにて周知し, サイトの積極的な活用を促した。 http://www.tut.ac.jp/kouhou/	Ⅲ	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。

参考: 2012年度(平成24年度)評価結果

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('13年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者の評価及びコメント
効率化	04-10-02	H22 H23 H24	各種学内スライド等データ(大学紹介, 広報, 地域連携事業紹介)の集約化・共有化, 周知	総務課	広報部会のHPに大学概要, 入学案内, 高大連携等のスライドを集約化・共同化を進めたが, 周知は不十分であった。他課所掌する教育・研究プログラム事業等のシートを増やすなど共有化を図ることとした。 http://www.office.tut.ac.jp/syo/kouho/ppt/ppt-2.html	Ⅱ	(評価者A) Ⅱ 自己評価が妥当であると判断する(主要事項は達成できている。) (評価者B) Ⅱ 自己評価が妥当であると判断する(広報による情報の一元化は効果的であったが, 達成が難しかったのは残念である。HPはかなり向上したものの, 情報過多により本学のプレゼンスを十分発信しているとは言い難い。効率的な発信をするための体制の構築が必要である。) (評価者C) Ⅱ 自己評価が妥当であると判断する

<会計課>

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('14年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者コメント			
							A	B	C	D
改善見直し	02-11-02	H24	事務局HPのレイアウト統一	会計課	レイアウトは統一済みであり、平成25年度以降は、例えばFAQの見直しを図り、質問の多い事項を追加するなど、内容の充実を図った。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	

参考:2012年度(平成24年度)評価結果

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('13年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者の評価及びコメント
改善見直し	02-11-02	H24	事務局HPのレイアウト統一	全課	会計課トップページは全課統一のレイアウトに変更したが、詳細部分については、随時更新を行う。	Ⅱ	(評価者A)Ⅱ 自己評価が妥当であると判断する (評価者B)Ⅱ 自己評価が妥当であると判断する(今後に期待する。) (評価者C)Ⅱ 自己評価が妥当であると判断する

<施設課>

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('14年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者コメント			
							A	B	C	D
改善見直し	02-11-02	H24	事務局HPのレイアウト統一	施設課	昨年度未対応となっていたトップページ以外のその他詳細部分についても、事務局統一のレイアウトに変更し、全て完了した。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	

参考:2012年度(平成24年度)評価結果

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('13年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者の評価及びコメント
改善見直し	02-11-02	H24	事務局HPのレイアウト統一	全課	トップページを事務局統一のレイアウトに変更した。その他の詳細部分は、未対応部分もあり現在も作業を進めているところである。	Ⅱ	(評価者A)Ⅱ 自己評価が妥当であると判断する (評価者B)Ⅱ 自己評価が妥当であると判断する(今後に期待する。) (評価者C)Ⅱ 自己評価が妥当であると判断する

<学生課>

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('14年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者コメント			
							A	B	C	D
改善見直し	02-11-02	H24	事務局HPのレイアウト統一	学生課	H25年9月に統一レイアウトを導入済。 さらにトップページの新着情報にRSS機能を追加済 (H26年3月)。	Ⅲ	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 自己評価が妥当であると判断する。

参考:2012年度(平成24年度)評価結果

区分	取組番号	取組期間	具体的な取組事項	担当	取組状況('13年3月末現在) (具体的な取組み内容及びその結果を記入)	自己評価	評価者の評価及びコメント
改善見直し	02-11-02	H24	事務局HPのレイアウト統一	全課	学生課のHPを学外からのアクセス可能環境に移設する作業を優先したために、レイアウトの統一作業が遅延している。現在統一レイアウトを導入作業を実施中である。 (平成25年9月現在統一レイアウト導入済み)	Ⅱ	(評価者A)Ⅱ 自己評価が妥当であると判断する (評価者B)Ⅱ 自己評価が妥当であると判断する(今後に期待する。) (評価者C)Ⅱ 自己評価が妥当であると判断する